

「和歌山県 森林・林業“新”総合戦略」の策定について

持続的な森林・林業・木材産業を目指し、長期総合計画の後期5か年のアクションプランとして重点的に取り組むべき内容を明らかにした「和歌山県 森林・林業“新”総合戦略」を策定しましたのでお知らせします。

基本方針

- 森林ゾーニングに基づく施策の選択と集中
- ICTなど新技術を活用した「スマート林業」の推進
- 製材所の加工・販売体制の強化
- 脱炭素社会の実現を視野に入れた紀州材利用の拡大
- 就業者のさらなる確保・育成と事業体の経営体質等の強化
- 生育が悪い人工林の広葉樹林化など、豊かな森林づくりの推進

○計画期間

2022(令和4)年度～2026(令和8)年度の5年

○主な目標

(基準値・基準年)

素材生産量 : 35万m³[2026(令和8)年] 26万m³ [2019(令和1)年]
 林業産出額(木材生産) : 30億4千万円[2026(令和8)年] 19億8千万円 [2019(令和1)年]

ゾーニングと基本方針 経済林 139千ha (うち重点エリア 86千ha) 「もうかる林業」を推進し、持続的な林業・木材産業を目指す 環境林 206千ha 森林の多面的機能の維持増進を図る	生産 素材生産体制の強化 ◆スマート林業の推進 ◆ICTを活用した森林クラウドシステムの整備 ◆林道や作業道等の整備 ◆協業(水平・垂直)による素材生産体制の強化 ◆伐採から植栽までの一貫作業システムやエリートツリー植栽の普及
	流通 素材流通体制の強化 ◆ICTを活用した需要別原木判別システムの整備 ◆原木の強度表示による付加価値の向上
	加工・販売 紀州材加工販売体制の強化 ◆加工事業者の生産力強化 ◆加工事業者の販売力強化
	利用 紀州材利用の拡大 ◆建築物の木造化・木質化の推進 ◆公共土木工事における木材利用の推進
	担い手 林業担い手の確保・育成 ◆新規就業者の確保 ◆和歌山県農林大学校林業研修部などでの人材育成 ◆事業体の経営体質の強化 ◆労働安全管理能力を有する事業体の育成 ◆新規起業への支援
	森林管理 適切な森林の管理 ◆「新紀州御留林」による貴重な森林の公有林化 ◆生育の悪い人工林の広葉樹林化 ◆花粉の少ない森づくりの推進 ◆「企業の森」の推進 ◆市町村による私有人工林の整備促進 ◆違法な伐採の監視強化

持続的な森林・林業・木材産業